

第17代「緑のふるさと協力隊」

ゆり 大竹 侑理さん

22歳＝埼玉県出身、宮守町達曽部在住＝

伝統芸能の奥深さに感激!



Profile

1997年埼玉県生まれ。國學院大学文学部を卒業。『遠野物語』に魅かれ、緑のふるさと協力隊として遠野に着任。現在、宮守町達曽部で人生初の一人暮らしをしながら、農業、伝統芸能などを体験し、地域に密着した活動を行っている。

互いに活かす道を見つけた
遠野と都市の魅力

第17代緑のふるさと協力隊として、今年の4月に本市に着任した大竹さん。「人が優しくて、空気はさわやか。とれたての野菜を料理して食べるのは至福の時間ですね」と顔をほころばせます。

幼少期から妖怪や幻想文学が好きだったという大竹さんは、大学で近現代日本文学を専攻。『遠野物語』を学び、日常の自然と非日常の妖怪が結びついた世界観に心惹かれました。物語の舞台に思いを巡らせ、大学4年時、自動車免許取得のため来遠。その時、イメージしていた物語の世界が目の前に広がりました。滞在中、初めて見た遠野まつりも大竹さんを魅了。し踊りの華やかで勇ましい舞を見て、ますます遠野に興味を湧きました。「着任先に遠野がなければ協力隊になっていけません」と遠野ファンを公言し、

隊員になって5カ月。農作業や伝統芸能、イベントへの参加などさまざまな活動を体験。その中でも特に関心を寄せるのは地域のお祭りです。都会のイベントと違い、遠野では主催者と参加者に壁がなく、みんなで力を合わせてまつりを作り上げていると感じています。また、大竹さんは地域の芸能団体に幅広く参加。長年地域コミュニティの中心になっていることと、代々継承する人たちが積み上げた思いの強さに感動。「言葉では言い尽くせない魅力がある」と夢中で取り組んでいます。

9月は任期の折り返し地点。秋の遠野も楽しみで、登山やキノコ採り、狩猟の付き添いもしてみたいと笑顔を見せる大竹さん。「都市と遠野、どちらの生活も知る自分だからこそ、それぞれの魅力を互いに活かす道を見つけた」と目を輝かせていました。



1_さくらまつりの南部入部行列では、清心尼公に仕えるつぼねの装いで練り歩きました 2_市内で農作業に挑戦中。この日は太田幸志さんの畑でナスの収穫をお手伝い 3_めがね橋夜まつりで下郷さんさ踊りを披露。まつりでは司会も担当しました 4_消防演習でのドリル演奏。練習の成果を堂々と発揮しました

広報遠野

Contents 目次



- 03 クローズ・アップ
- 04 特集 健幸スズメ 生活の
- 10 第2号 私の選択 遠野で働き、暮らす
- 14 遠野テレビ加入金・使用料変更
- 16 総合カレンダー
- 18 折り込み 休日当番医日程表(下半期)
- 22 学びのいずみ “わ”で奏でる東日本応援コンサート2019 in 遠野/令和2年市成人式実行委員募集 ほか
- 24 インフォメーション
- 26 キラッと、遠野人。
- 28 遠野文化研究センターだより/遠野で起業に挑戦中!/伊香学のチャタヌーガ now!
- 30 まちの話題
- 32 イベント情報/とじ込みチラシ
- 34 みんなの広場
- 36 青春のトーク ほか

Statistics 各種統計

市の人口(7月末現在)
 男性:12,899人(-26)
 女性:13,879人(-16)
 計:26,778人(-42)
 高齢化率:39.2%(+0.1)
 世帯数:10,775世帯(-11) ※()内は前月比

交通事故発生件数(7月中)
 物損39件 人身3件 死者0人

救急車出動回数(7月中) 93件

火災発生件数(7月中)
 建物0件 林野0件 車両0件 その他0件

Public Relations 広報広聴

ホームページのご案内
 情報満載の市ホームページでは、広報遠野の最新号やバックナンバーもご覧いただけます。

遠野市

市政なんでも相談箱のご案内
 市への意見・提言、広報遠野への感想などは、主要施設に設置している「市政なんでも相談箱」(右図)か、市ホームページの「お問い合わせ」までお寄せください。



環境フロンティア遠野

写真コンテスト作品募集

テーマは『大好き、遠野!』。お気に入りの遠野の写真をお寄せください。

【参加資格】 アマチュアの人

【テーマ】 『大好き、遠野!』…あなたが大好きと感じる、お気に入りの遠野の写真を募集します。

【応募規定】 応募作品は未発表の作品とし、他の写真コンテストへの併用応募はご遠慮ください。

【応募方法】 カラーまたはモノクロプリント四つ切り(ワイド可能)に▷作品タイトル▷氏名▷連絡先▷撮影場所一を添えて郵送してください。

【賞】 最優秀賞:1人、優秀賞:2人、佳作:若干名(予定)

【展示】 応募作品は『環境フロンティア遠野写真展』で展示

【注意事項】 被写体が人物の場合、被写体となった人から事前承諾を得てください。主催者は、肖像権やその他のトラブルについて、一切の責任を負いません。作品の使用権は環境フロンティア遠野および遠野市に帰属します。



平成30年度最優秀作品『夏』
 撮影者/浦田優子さん(宮守町)

募集締切 **9月27日(金)**

応募先・問い合わせ
 〒028-0592 遠野市中央通り9番1号
 環境フロンティア遠野事務局(市環境課内)
 ☎62-2111(内線564)